

CARBとPOCリハの定義

■ CARB (Complementary and Alternative Rehabilitation)

地域包括ケア病棟では、スケジュールと提供量(20分1単位)を管理された疾患別・がん患者リハビリテーション(以下リハ)以外に、リハ包括算定を活かした時間・単位・場所に縛られないリハを提供できる。

POC(Point of Care)リハ(下記参照)や、集団リハ、院内デイケア・デイサービス、自主トレーニング、運動療法指導(疾患別リハでは算定対象外だが糖尿病等の疾患特性を踏まえた指導)等、疾患別リハ・がん患者リハを補完代替するリハを“CARB”と総称している。

CARBは、リハ科医の指示と処方の下にリハ療法士が実施・介入する。分単位のリハビリ記録の記載が必要で、疾患別リハ・がん患者リハと同時に実施できず、1日平均2単位以上の要件にも含まれない。

■ POC (Point of Care) リハ

CARBのうち、患者の傍らで、個別に短時間(20分未満)、オンデマンドでリアルタイムに直接介入するリハをPOCリハと称している。

OTは生活回復リハ、PTは廃用・褥瘡予防と機能回復リハを主に担当し、患者の「しているADL」への介入を容易にする。